

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿島市役所			代表者名	松尾 勝利
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策総務部DX推進室	連絡先電話番号	0954-68-0140
担当者役職	一般職員	担当者氏名	一ノ瀬 慶太	連絡先E-mail	
住所	849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	EBPM及びサービスデザイン思考を活用できるDX人材の育成
概要	EBPM及びサービスデザイン思考の考え方による施策・取組を組成できる職員の育成を目的とした職員向け研修		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 生成AI活用 働き方		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月18日	事前打合せ(オンライン)	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・ 今回の研修について、川口様へ本市の狙いをくみ取っていただいていることが分かり、職員に「EBPM」「サービスデザイン思考」とは何か、またその必要性について理解いただける内容になるのではと感じた。また、「EBPM」で重要なのは、取組を評価・分析し、次のアクションに移ることだということもDX推進室として参考になった。 ・ 本市のDXを進める中での課題である「生成AIの運用手法」「新規施策の立案手法」「地域通貨・ポイント事業」「officeの方向性」「マイナンバー系ネットワークの画面転送方式」などについて、より最小の費用で最大の効果をあげるための考え方や先進事例をご教示いただき、今後の参考となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	3人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	3		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・ 全庁的にEBPMやサービスデザイン思考の必要性が認知されていない。 ・ 担当課としてDXを進めていくうえで、専門的なアドバイスを受けることができていない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・ 8/18～19の職員研修について、事前打合せを行い、EBPMやサービスデザイン思考とは何なのか、またその必要性、業務での活用方法などの認識共有を図るために、より効果的な研修にする。 ・ これからのDX推進にあたっての施策についてのアドバイスを受け、今後事務局としての進め方の参考としたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・EBPM（データや根拠に基づく政策立案）は、次の2種類があり、②も重要。 ①未来に向けたEBPM（●●に基づいて、新たに▲▲をすべき（相関関係からの予測）） ②過去に向けたEBPM（これまでの取組を分析・評価し、見直す） ↳何がどれだけ良くなったのか、定量的に説明できるかが重要。 ・サービスデザイン（市民目線でサービスを設計）思考は、役所の担当者目線では見えない。市民の立場に立って、「体験」しないと自分事として捉えられない。 など	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・EBPMやサービスデザイン思考の本質とは何なのか、知見を広げることができた。 ・より効果的な職員研修になるような研修内容の認識合わせができた。 ・今後、新たな取組をどのように進め、取り組んでいくのか、担当部署としての意識すべきポイントを確認できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特に無し	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4－4. 事業の最終的な目指す姿	・データを根拠に、市民目線で捉えられた効果的な事業を職員が組成できている状態。 ・市民目線で考えられた「窓口」を接点とする取組などを職員が遂行していくことで、より住民の幸福度が向上している状態。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

